

A - 金庫

時間制限 : 2sec / メモリ制限 : 256MB

問題文

あなたはぬいぐるみを持っています。ぬいぐるみは大切なので鍵をかけて金庫に保管しています。

金庫はダイヤル式で、 -100 から 100 までの整数値の目盛りが書かれています。最初 0 に針が合わせられています。

金庫は針が 0 にある状態から始めて、針を A の位置に合わせた後、 B の位置に合わせて、再び 0 の位置に合わせることで開けることができます。針を A の位置に合わせる前に針を B の位置に合わせることはできますが、この場合でも針を A の位置に合わせた後に再び B の位置に合わせる必要があります。

針が指す値は 1 ずつしか変化させることができません。ただし、針が -100 を指している状態で針が指す値をさらに減らすこと、針が 100 を指している状態で針が指す値をさらに増やすことはできません。

また、針が指す値を 1 つ変化させる度に音が 1 回鳴ります。例えば針が 0 を指している状態から 1 ずつ針が指す値を増やしていった針が 5 を指すようにした場合には 5 回音が鳴ります。

あなたは金庫が鳴らす音が苦手で、余り音を鳴らしたくないので、音を鳴らす回数として考えられる最小値が知りたいです。

入力

入力は以下の形式で標準入力から与えられる。

A
 B

- 1 行目には、最初に針を合わせるべき整数 A ($-100 \leq A \leq 100$) が与えられる。
- 2 行目には、次に針を合わせるべき整数 B ($-100 \leq B \leq 100$) が与えられる。
- $A \neq 0, B \neq 0, A \neq B$ である。

出力

音を鳴らす回数として考えられる最小値を 1 行に出力せよ。出力の末尾にも改行を入れること。

入力例1

```
5
-2
```

Copy

出力例1

```
14
```

Copy

針が指す整数を $0 \rightarrow 1 \rightarrow 2 \rightarrow 3 \rightarrow 4 \rightarrow 5 \rightarrow 4 \rightarrow 3 \rightarrow 2 \rightarrow 1 \rightarrow 0 \rightarrow -1 \rightarrow -2 \rightarrow -1 \rightarrow 0$ と移動させることで音を鳴らす回数を 14 回に抑えることができます。

入力例2

```
4
3
```

Copy

出力例2

```
8
```

Copy

先に B で指定された値に針が一致することもあります。

入力例3

```
-40
-91
```

Copy

出力例3

```
182
```

Copy